

新規上場申請のための有価証券報告書

(I の部) の訂正報告書

株式会社グッドパッチ

【表紙】

【提出書類】 新規上場申請のための有価証券報告書(Iの部)の訂正報告書

【提出先】 株式会社東京証券取引所 代表取締役社長 宮原 幸一郎 殿

【提出日】 2020年6月12日

【会社名】 株式会社グッドパッチ

【英訳名】 Goodpatch Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 土屋 尚史

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区鶯谷町3番3号

【電話番号】 03-6416-9238 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員 管理部管掌 槇島 俊幸

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区鶯谷町3番3号

【電話番号】 03-6416-9238 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員 管理部管掌 槇島 俊幸

1 【新規上場申請のための有価証券報告書（Ⅰの部）の訂正報告書の提出理由】

令和2年5月27日付をもって提出した新規上場申請のための有価証券報告書（Ⅰの部）の記載事項のうち、「第一部 企業情報 第1 企業の概況 1 主要な経営指標等の推移」、「第一部 企業情報 第1 企業の概況 5 従業員の状況」、「第一部 企業情報 第2 事業の状況 3 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」並びに「第一部 企業情報 第3 設備の状況 2 主要な設備の状況」の記載内容の一部を訂正するため、新規上場申請のための有価証券報告書（Ⅰの部）の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報	1
第1 企業の概況	1
1 主要な経営指標等の推移	1
5 従業員の状況	5
第2 事業の状況	7
3 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	7
第3 設備の状況	9
2 主要な設備の状況	9

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_____ 罫で示してあります。

第一部 【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等

(訂正前)

回次		第 7 期	第 8 期
決算年月		2018年 8 月	2019年 8 月
売上高	(千円)	1,371,260	1,683,269
経常利益又は経常損失(△)	(千円)	△11,726	83,678
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	(千円)	△22,219	57,389
包括利益	(千円)	△23,926	52,372
純資産額	(千円)	411,024	463,396
総資産額	(千円)	775,274	821,642
1株当たり純資産額	(円)	59.88	67.51
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	(円)	△3.24	8.36
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	(円)	—	—
自己資本比率	(%)	53.0	56.4
自己資本利益率	(%)	—	13.1
株価収益率	(倍)	—	—
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	△29,704	126,880
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	△33,032	△20,812
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	13,330	△64,388
現金及び現金同等物 の期末残高	(千円)	473,565	508,908
従業員数	(名)	118	158

(注記省略)

(訂正後)

回次		第7期	第8期
決算年月		2018年8月	2019年8月
売上高	(千円)	1,371,260	1,683,269
経常利益又は経常損失(△)	(千円)	△11,726	83,678
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	(千円)	△22,219	57,389
包括利益	(千円)	△23,926	52,372
純資産額	(千円)	411,024	463,396
総資産額	(千円)	775,274	821,642
1株当たり純資産額	(円)	59.88	67.51
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	(円)	△3.24	8.36
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	(円)	—	—
自己資本比率	(%)	53.0	56.4
自己資本利益率	(%)	—	13.1
株価収益率	(倍)	—	—
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	△29,704	126,880
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	△33,032	△20,812
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	13,330	△64,388
現金及び現金同等物 の期末残高	(千円)	473,565	508,908
従業員数	(名)	118	<u>136</u>

(注記省略)

(2) 提出会社の経営指標等
(訂正前)

回次	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期
決算年月	2015年8月	2016年8月	2017年8月	2018年8月	2019年8月
売上高 (千円)	345,931	522,580	643,694	1,163,040	1,401,731
経常利益又は経常損失(△) (千円)	△56,379	△105,694	△257,912	△40,072	93,693
当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	△56,321	△106,224	△275,284	△50,528	68,507
資本金 (千円)	55,000	255,003	455,754	455,754	455,754
発行済株式総数					
普通株式	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
A種優先株式 (株)	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
B種優先株式		21,053	21,053	21,053	21,053
C種優先株式			16,941	16,941	16,941
純資産額 (千円)	45,418	339,200	465,418	414,889	483,397
総資産額 (千円)	157,378	544,333	826,057	760,039	800,328
1株当たり純資産額 (円)	△436.65	△1,320.12	△3,265.22	60.44	70.42
1株当たり配当額 (1株当たり中間配当額) (円)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△) (円)	△450.57	△977.55	△2,229.61	△7.36	9.98
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 (円)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	28.9	62.3	56.3	54.6	60.4
自己資本利益率 (%)	—	—	—	—	15.3
株価収益率 (倍)	—	—	—	—	—
配当性向 (%)	—	—	—	—	—
従業員数 (名)	59	77	92	101	135

(注記省略)

(訂正後)

回次	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期
決算年月	2015年8月	2016年8月	2017年8月	2018年8月	2019年8月
売上高 (千円)	345,931	522,580	643,694	1,163,040	1,401,731
経常利益又は経常損失(△) (千円)	△56,379	△105,694	△257,912	△40,072	93,693
当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	△56,321	△106,224	△275,284	△50,528	68,507
資本金 (千円)	55,000	255,003	455,754	455,754	455,754
発行済株式総数					
普通株式	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
A種優先株式 (株)	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
B種優先株式		21,053	21,053	21,053	21,053
C種優先株式			16,941	16,941	16,941
純資産額 (千円)	45,418	339,200	465,418	414,889	483,397
総資産額 (千円)	157,378	544,333	826,057	760,039	800,328
1株当たり純資産額 (円)	△436.65	△1,320.12	△3,265.22	60.44	70.42
1株当たり配当額 (1株当たり中間配当額) (円)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△) (円)	△450.57	△977.55	△2,229.61	△7.36	9.98
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 (円)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	28.9	62.3	56.3	54.6	60.4
自己資本利益率 (%)	—	—	—	—	15.3
株価収益率 (倍)	—	—	—	—	—
配当性向 (%)	—	—	—	—	—
従業員数 (名)	59	77	92	101	113

(注記省略)

5 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

(訂正前)

2020年4月30日現在

セグメントの名称	従業員数(名)
デザインパートナー事業	121
デザインプラットフォーム事業	52
全社(共通)	29
合計	202

- (注) 1. 従業員数は就業人員(当社グループから社外への出向者を除き、社外から当社グループへの出向者を含む。)であり、臨時雇用者数は、重要性が乏しいため記載しておりません。
2. 全社(共通)として記載されている従業員数は、特定のセグメントに区分できない管理部門の従業員であります。
3. 最近日までの1年間において従業員が57名増加しております。主な理由は、業容の拡大に伴い期中採用が増加したことによるものであります。

(訂正後)

2020年4月30日現在

セグメントの名称	従業員数(名)
デザインパートナー事業	121
デザインプラットフォーム事業	23
全社(共通)	29
合計	173

- (注) 1. 従業員数は就業人員(当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。)であり、臨時雇用者数は、重要性が乏しいため記載しておりません。
2. 全社(共通)として記載されている従業員数は、特定のセグメントに区分できない管理部門の従業員であります。
3. 最近日までの1年間において従業員が40名増加しております。主な理由は、業容の拡大に伴い期中採用が増加したことによるものであります。

(2) 提出会社の状況

(訂正前)

2020年4月30日現在

従業員数(名)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)	平均年間給与(千円)
174	32.1	1.8	5,627

セグメントの名称	従業員数(名)
デザインパートナー事業	99
デザインプラットフォーム事業	50
全社(共通)	25
合計	174

- (注) 1. 従業員数は就業人員(当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。)であり、臨時雇用者数は、重要性が乏しいため、記載しておりません。
2. 平均年間給与は、賞与及び基準外賃金を含めております。
3. 全社(共通)として記載されている従業員数は、特定のセグメントに区分できない管理部門の従業員であります。
4. 最近日までの1年間において従業員が51名増加しております。主な理由は、業容の拡大に伴い期中採用が増加したことによるものであります。

(訂正後)

2020年4月30日現在

従業員数(名)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)	平均年間給与(千円)
145	32.1	1.8	5,627

セグメントの名称	従業員数(名)
デザインパートナー事業	99
デザインプラットフォーム事業	21
全社(共通)	25
合計	145

- (注) 1. 従業員数は就業人員(当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。)であり、臨時雇用者数は、重要性が乏しいため、記載しておりません。
2. 平均年間給与は、賞与及び基準外賃金を含めております。
3. 全社(共通)として記載されている従業員数は、特定のセグメントに区分できない管理部門の従業員であります。
4. 最近日までの1年間において従業員が34名増加しております。主な理由は、業容の拡大に伴い期中採用が増加したことによるものであります。

第2 【事業の状況】

3 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(2) 経営者の視点による経営成績等の状況に関する分析・検討内容

③ 経営戦略の現状と見通し

(訂正前)

<前略>

デザインパートナー事業については、引き続き、デジタルトランスフォーメーションにあわせて、スマートフォンのアプリ等の新しいユーザーシーンを捉えて新しいユーザー体験をデザインするUI/UXソリューションの提供により収益の拡大及び安定化を図ってまいります。また、デザインプラットフォーム事業については、デザインパートナー事業で培ったナレッジの蓄積をもとにしたプロダクトの提供や、自社で構築したデザイン人材プールを活用したサービスを提供することで、収益の拡大を目指します。なお、上記した各事業は、サービス単独での収益拡大のみならず、人材やノウハウの相互共有によるシナジー等の効果を取り込むことによりグループ全体としての収益拡大を目指します。

(訂正後)

<前略>

デザインパートナー事業については、引き続き、デジタルトランスフォーメーションにあわせて、スマートフォンのアプリ等の新しいユーザーシーンを捉えて新しいユーザー体験をデザインするUI/UXソリューションの提供により収益の拡大及び安定化を図ってまいります。また、デザインプラットフォーム事業については、デザインパートナー事業で培ったナレッジの蓄積をもとにしたプロダクトの提供や、リモートワークに有効なプロダクトの開発の加速、また、自社で構築したデザイン人材プールを活用したサービスを提供することで、収益の拡大を目指します。なお、上記した各事業は、サービス単独での収益拡大のみならず、人材やノウハウの相互共有によるシナジー等の効果を取り込むことによりグループ全体としての収益拡大を目指します。

また、当社グループへの新型コロナウイルス感染症(COVID-19)による業績の影響については、連結子会社 Goodpatch GmbHにおいて、ドイツ国内で2020年2月から5月にかけて行われた外出禁止令(ロックダウン)やドイツ経済の停滞による一部プロジェクトの停止、またそれらに伴う新規プロジェクト獲得活動の困難化による影響及び ReDesignerにおける求職者の減少等による影響がみられているものの、当社グループの業績に大きな影響はないと考えております。

④ 経営者の問題認識と今後の方針について

(訂正前)

当社の経営者は、当社グループが今後さらなる成長と発展を遂げるためには、厳しい環境の中で様々な課題に対処していくことが必要であると認識しており、「第2 事業の状況 1 経営方針、経営環境及び対処すべき課題等」に記載のとおり、事業運営に努めてまいります。

(訂正後)

当社の経営者は、当社グループが今後さらなる成長と発展を遂げるためには、厳しい環境の中で様々な課題に対処していくことが必要であると認識しており、「第2 事業の状況 1 経営方針、経営環境及び対処すべき課題等」に記載のとおり、事業運営に努めてまいります。

特に、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大に起因する経済活動の自粛や後の景気低迷を懸念することによる企業の投資行動の減退は、デジタルトランスフォーメーションの流れにも変化を引き起こす可能性があるものと認識しております。短期的には、企業側における業績への影響の確認やキャッシュ・フローの確保を優先するために、デジタルトランスフォーメーションへの投資行動が一時的には減速する可能性があります。現在のところ、ネットワークやビジネスツールの進化によって、対面の人と人との接触を制限しながらより多くのサービスがオンラインで提供され、リモートワークの拡大が進んでおります。企業は変化に適応するためこれまでの投資行動を見直し、さらに不確実性が高まる社会において、柔軟な思考でユーザーの置かれる立場を意識しながらサービスを開発することが求められるようになると窺えることから、当社グループが掲げる「デザイン」の社会的意義がますます高まることが期待されます。そのため、当社グループとしては、ユーザー環境の変化をいち早く捉え、「デザイン」による付加価値を拡大していきたいと考えております。

⑤ 資本の財源及び資金の流動性

(訂正前)

当社グループのキャッシュ・フローの状況につきましては、「3. 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 (1) 経営成績等の状況の概要 ③キャッシュ・フローの状況」をご参照ください。

当社グループの資金需要は、事業規模の拡大に係る人件費や採用費が中心となります。財政状態等を勘案しながら、必要に応じて、自己資金、金融機関からの借入及びエクイティファイナンス等による資金調達を考えております。継続的に流動資産と流動負債のバランスを注視し財政状態の健全性を評価しており、本書提出日現在、健全な財務体制であると判断しております。

(訂正後)

当社グループのキャッシュ・フローの状況につきましては、「3. 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 (1) 経営成績等の状況の概要 ③キャッシュ・フローの状況」をご参照ください。

当社グループの資金需要は、事業規模の拡大に係る人件費や採用費が中心となります。財政状態等を勘案しながら、必要に応じて、自己資金、金融機関からの借入及びエクイティファイナンス等による資金調達を考えております。継続的に流動資産と流動負債のバランスを注視し財政状態の健全性を評価しており、本書提出日現在、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が世界的に流行している状況下においても影響は軽微であり、健全な財務体制であると判断しております。

第3 【設備の状況】

2 【主要な設備の状況】

(1) 提出会社

(訂正前)

2019年8月31日現在

事業所名 (所在地)	セグメントの名称	設備の内容	帳簿価額(千円)				従業員数 (名)
			建物	建物附属設備	工具器具備品	合計	
本社 (東京都 渋谷区)	デザインパートナー事業 デザインプラットフォーム事業 全社(共通)	事務所	8,495	20,367	24,899	53,762	<u>135</u>

(注記省略)

(訂正後)

2019年8月31日現在

事業所名 (所在地)	セグメントの名称	設備の内容	帳簿価額(千円)				従業員数 (名)
			建物	建物附属設備	工具器具備品	合計	
本社 (東京都 渋谷区)	デザインパートナー事業 デザインプラットフォーム事業 全社(共通)	事務所	8,495	20,367	24,899	53,762	<u>113</u>

(注記省略)